

先祖を想う

副校長 伊瀬知 大記

学校が再開してから子どもたちは新しい生活様式の中で学校生活を送ってきました。梅雨の季節で蒸し暑い中マスクを着用して学習する姿、休み時間の度にこまめに手洗いをする姿、一言もしゃべらず静かに給食を食べる姿など、一人ひとりができることに取り組み、協力して過ごす姿が校内のあちらこちらでたくさん見られました。慣れない生活様式の中で、一生懸命過ごした2か月だったと感じています。

さて、明日から夏休みが始まります。私にとって夏休みの一大行事と言えば、お盆の墓参りです（地域によってお盆の時期は異なります）。夏の暑い陽射しの中、汗をかきながら墓石を掃除し、花や食べ物を供え、線香に火を付け、先祖を思い、手を合わせます。私が今元気でいられるのは、たくさんの先祖のおかげであり、そう思うと感謝の気持ちが自然と湧いてきます。また、お盆の時にしかお墓に来ることができない先祖もいるそうですので、特別な想いでお参りをします。先祖に感謝し、供養ができたことが明日への活力となります。

今年の夏休みは例年よりも期間が短く、様々な制限もあると思いますが、ご家庭で有意義な時間を過ごして、また元気に登校してくるのを楽しみにしています。

手作りマスクをいただきました！

新吉田西部町内会の会長 萩生田 正子様から、子ども用のマスク150枚をいただきました。

お嬢様と一緒に作られたそうです。様々な柄があってどれも素敵なマスクでした。また、一つ一つ丁寧に包装もしてくださっていました。

1年生と5678組のみなさんにプレゼントして、使ってもらうことにしました。

